

バクーの地下鉄

バクーの地下鉄(バクー・メトロ)は、旧ソ連時代の 1967 年、ソ連邦 5 番目の地下鉄として建設されました。その設計は正に「ソ連スタイル」で、駅は地下深くに設けられ(敵の攻撃時に防空壕として機能する目的だった由)、ホームやコンコースには精緻な装飾が施されています(特にニザミ駅のホームは必見。また、メマル・アジャミ駅の乗換え通路には浮世絵を始め世界の名画が展示されています)。線路軌間は 1,520 mm(最広軌のロシアゲージ)。車両はロシアのメトロワゴンマシュ社が仏アルストム社と共同で製造しています。

地下鉄の総延長は 41km で 3 路線(緑、赤、紫)、27 駅から成ります。1 日当たり平均乗客数は昨年 57 万人でした。2030 年迄に 119km、76 駅へ拡張する計画ですが、バクーの人口増加に輸送力増強が追いつかない様子で、通勤・通学ラッシュ時には乗客が溢れ、乗車するまで何本も電車を見送る光景が見られます。

地下鉄の運賃は 40 ガピック(30 円)均一と大変安いです。お時間と興味のある方は是非地下鉄に乗り各駅の意匠・装飾を鑑賞されることをお勧めします(但しオフピークアワーに)。

なお、運賃が安いこともあり、地下鉄を運営する国営のバクー・メトロ社は常に赤字経営を余儀なくされています。例えば昨年は国家予算から 5 千万マナト(40 億円)の補助金を受けた上に純損失を出しています。同社は 2020 年の大統領令により「アゼルバイジャン投資ホールディング」の傘下に置かれ、政府直轄で業績、財務体質の改善が図られようとしています。



ホームの芸術的装飾(ニザミ駅)



乗換え通路にある浮世絵(メマル・アジャミ駅)



(以上)